

第 71 期 日本語研修コース

研修成果発表会

2021 年 9 月 8 日

広島大学森戸国際高等教育学院

目次

日本でべんきょうするもくてきとしょうらいのゆめ デラ・バズ・マニユエル・エデュアルド・レガスビ (フィリピン) …1	
私と日本 ファトゥ・ビ・シセ (ガンビア) …… …… …… …… …… …… …… …… …… 4	
日本にいる私 ブラワット・マタニー(タイ) …… …… …… …… …… …… …… …… …… 7	
日本でやりたいこと ハビエル・エリアス・ゴンザレス・チャベス (メキシコ) …… …… …… 10	
自転車での私の歴史 オマル・カミロ・オルトゥア・ディアズ (コロンビア) …… …… …… 12	
日本にいる私 ピボーンラブドム・スパスター (タイ) …… …… …… …… …… …… …… …… 15	
愛をもとめるさびしいわたし バブ・リヨガル (インド) …… …… …… …… …… …… …… …… …… 18	
わたしの日本での生活 ラムヤ・ムルガン (インド) …… …… …… …… …… …… …… …… …… 21	
日本での生活 グルナタン・ビジャヤラクシュミ (インド) …… …… …… …… …… …… …… …… 24	

日本でべんきょうするもくてきとしょうらいのゆめ

デラ・バズ・マニユエル・エデュアルド・レガスビ

みなさん、こんにちは。わたしのなまえはマークです。
フィリピンから来ました。

わたしのしゅっしんちのまちのなまえは、バコロドです。バコロドは、えがおのまちとして知られています。さとうのせいさんちとしても、ゆうめいです。

わたしのしゅみは、およぐことと、ハイキングと、おいしいものを食べることです。ファトゥさんのてりょうりが、だいすきです。とんこつラーメンとぎゅうどんもだいすきです。子どもころは、川で水あびをしていました。そしてビーチがだいすきです。

わたしは、かいようせいぶつがくしゃで、せんこうはイルカです。けんきゅうしているイルカのしゅるいは、カワゴンドウといいます。これは、カワゴンドウのしゃしんです。

かわごんどうはぜつめつきぐしゅで、えんがんちいき

にいます。わたしのけんきゅうは、イルカのいどうのパターンをあきらかにすることです。わたしはまた、じもとのかたがたときょうりよくして、イルカと日本のえんがんちいきのコミュニティーを、ほごするしえんをしています。

わたしは、かいようほにゆうるいや、かいようしげんについてのりかいをふかめるために、日本に来ました。しょうらいは、せとないかいで、スナメリとはたらきたいです。スナメリもぜつめつのききにひんしていて、ここすうねんかんでげんしょうしています。わたしは、日本人が、どのようにかいようしげんをかんりしているかを知りたいです。そのために、日本語をべんきょうして、ことばのたいせつさをじっかんしました。

フィリピンでは、英語がほぼだいいちげんごですが、フィリピン語もつかえます。フィリピン語は英語より、べんきょうがむずかしいです。そのため、わたしはいつも、げんごをべんきょうしています。日本語のべんきょうは、おもしろいです。広島大学の先生は、日本語をお

しえるのが、とてもじょうずです。先生がたは、とても
しんせつで、にんたいづよいです。日本語のきほんから
べんきょうをはじめているので、まるで子どものように
かんじます。しかしわたしは、このべんきょうほうほう
に、ほんとうにかんしゃしています。いつかわたしも、
おなじようにおしえたいとおもいます。

わたしにに日本語をおしえてくれた、すべての先生に
かんしゃします。ありがとうございます。

私と日本

ファトゥ・ビ・シセ

みなさん、こんにちは。私はファトゥです。今日は私のことについて話したいと思います。私はガンビア人です。ガンビアは小さい国で、“smiling coast of Africa”と言われていています。西アフリカにいちしており、セネガルにかこまれています。ガンビアには8つの部族があり、でんとうも文化も食べ物もちがいます。主な産業は農業と漁業です。

私の日本へ来た目的は、いっばんてきな感染症を勉強することです。世界で毎年多くの方が感染症でなくなっています。例えば、コロナです。ワクチンは開発されましたが、まだちりょう薬はありません。先進国でもまだ感染者数はふえています。そのため、十分なたいさくをする必要があります。その中のいくつかを下にあげます。

1. マスクをきちんと着用する。
2. きよりをたもつ。

3. 石けんと水でていねいに手を洗う。そして、アルコールを使う。
 4. 目やはなや口にふれない。
 5. 不必要に出かけない。
 6. よくさわる場所をていきてきにアルコール消毒する。
- 以上のことをみんなでももって、コロナから自分をまもりましょう。

次に、日本のいんしょうについて話します。日本はとてもおもしろい国です。日本は空気がきれいで、みどりが多い国です。山もたくさんあります。日本人はフレンドリーでやさしいです。そして、日本ははんざいが少なく、住むのにもっとも安全な国だと思います。日本には米を使った料理が多いです。私の国にも米の料理が多いです。だから、日本で食べ物をえらぶのに困りませんでした。私のしゅみは料理を作ることです。たきこみごはんが大好きです。

さいごに、日本語を勉強して感じたことを話します。日本語の勉強は、私にとってはじめてのけいけんでした。

たくさんの文字があっっておもしろいです。はじめはむずかしかったですが、先生の教え方はとてもわかりやすかったです。やさしく教えてくださったので、日本語をすこし話せるようになり、うれしいです。

これからも がんばります。聞いてくださって、ありがとうございました。

日本にいる私

ブラワット・マタニー

私はブラワット・マタニーと申します。タイから参りました。タイは東南アジアにあります。日本に来るのは 2 回目ですが、広島に来るのは初めてです。私は国で日本語をぜんぜん勉強しませんでした。広島大学に来てはじめて日本語を勉強しました。

私が日本語を勉強したクラスには留学生が 10 人いました。2 人のタイ人と 3 人のインド人と、それにフィリピン人とガンビア人とコロンビア人とナイジェリア人とメキシコ人が 1 人ずついます。私のクラスメートはみんなとても親切で、社交的で、面白いです。

授業は毎朝 9 時半に始まって、4 時 5 分に終わりました。クラスの授業は、午前中は、漢字や読書や文法を勉強しました。昼休みが終わって、午後は 12 時 50 分から始まりました。そのクラスでは たくさん練習をしました。コロナの患者が多くなったので、時には誰もがオン

ラインで勉強しなければなりませんでした。友だちや先生に直接会って勉強するととても楽しいので、私はオンラインで勉強するよりも教室で勉強するほうが好きです。

このように生活をしたので、今私は日本のことが少しわかります。これから一年ぐらい日本で暮らすので、日本のことがもっとよくわかるようになるでしょう。

クラスメートや先生と一緒に広島へ見学に行きました。築400年の縮景園という庭園、広島城、広島平和記念資料館に行きました。私は喫茶店に行き、ホストファミリーのためにお菓子を買いました。その後、まずホストファミリーに会い、それから夕食をとり、ホストファミリーの家に泊まりました。翌朝、ホストファミリーは私においしい日本食を作ってくれました。ホストファミリーと一緒に過ごせて、とてもうれしかったです。

このスピーチは日本語研修コースの最後の練習です。私の日本語はいかがでしょう。先生、ホストファミリーの皆さん、いっしょに日本語を勉強した皆さん、いろ

いろいろありがとうございました。いつかまたお会いしましょう。お元気で。

日本でやりたいこと

ハビエル・エリアス・ゴンザレス・チャベス

おはようございます。今日、私はメキシコからこのスピーチをしています。日本語コースを始めてから、日本に旅行することができませんでした。日本は来月良くなると思います。メキシコのグアナファト大学にいたときに、グローバル人材というプログラムを知りました。日本語コースはグローバル人材プログラムの一部です。私は今まで日本語を勉強したことがありませんでした。ひらがな、カタカナ、漢字を見たとき、私は驚きました。子供のとき、アニメをたくさん見ていましたが、日本語は勉強しませんでした。今はもう少し日本語がわかります。私はアニメ音楽が本当に好きで、歌うのが好きです。コンサートがあるとは知りませんでしたので、コンサートに行きたいです。私が日本に行くとき、私は新幹線に乗りたいです。メキシコの地下鉄にりましたが、私は街を見ることができません。私はワンピースが本当に好

きで、ワンピースのものでいっばいのフロアがある東京タワーに行きたいです。また、熊本でこれらのキャラクターのために作られた新しい彫像を知りたいです。私の国、メキシコは雪が降ることはありません。私の夢は、雪を見て広島付近でスキーができるようになることです。日本料理はとても美味しいと思いますので、早く食べてみたいです。私は料理をするのが好きないところがあります。彼は私を彼の家で日本料理を食べるように誘ったことがあります。いところがラーメン、お好み焼き、たこ焼きを作りました。すべてがとても美味しかったです。いところが日本で食べたときに味が変わるかどうかを知りたいです。私は花火が大好きで、日本は最高の花火祭りの一つ、「花火タクサン祭り」があります。東京都江戸川区で8月からあると思います。今年と去年は、パンデミックにより日付が変更されました。私はすぐに日本に旅行することができるように願っています。私のスピーチはこれでおわりです。聞いてくださってありがとうございます。

自転車での私の歴史

オマル・カミロ・オルトゥア・ディアズ

みなさん。おはようございます。わたしのスピーチは「自転車での私の歴史」です。

自転車は私の国では子供たちへの一般的な贈り物です。それは親が子供に小さいときに与える贈り物です。自転車の乗り方を知ることも、おおぜいの親が重要であると信じている一般的なことです。

私の意見では、自転車は器用さを与えると思います。自転車に乗れる子供は、より簡単な状況でバランスを保つことができます。

子供がすぐに自転車に乗れないと、多くの親は腹を立てます。彼らは、スキルが人によって異なることを考慮していません。

サイクリングはコロンビアの国技ではありません。しかし、そうだと思います。私たちはこのスポーツに素晴らしい伝統を持っています。コロンビアは、サイクリン

グで非常に重要な唯一の貧しい国です。他のはヨーロッパの国です。米国はもう一つの重要な国です。

私のサイクリングへの愛情は、子供の時から始まりました。父がサイクリング大会を見ているのを見るのは楽しかったです。それで、私は父と一緒に彼らを見ました。コロンビアのサイクリストを応援しました。彼らは現在のサイクリストほどのレベルを持っていませんでしたが、コロンビアはそのサイクリングで進化したと言えます。そして、自転車に関連するすべてのものに対する私の好みも高まりました。

私は5さいのとき自転車を持っていましたが、両親は友達と一緒に自転車に乗ることを許可しませんでした。その理由は、車の犯罪と危険でした。

両親は私が10さいになってから友達と一緒に出かけさせてくれました。しかし、その時間は1年しか続きませんでした。私の自転車が盗まれたのです。そして、学士号を取得するまで、自転車を再び手に入れることはできませんでした。つまり、最初の仕事で最初の自転車を

購入しました。私は仕事に行くためにそれを使用しませんでした。私は日曜日に買い物や散歩に自転車を使うだけでした。

日曜日に自転車に乗る人はほとんどいませんでしたが、コロンビア人がヨーロッパで優勝し始めてから、サイクリストが増え、乗るのがもっと楽しくなりました。

これで私のスピーチをおわります。ありがとうございました。

日本にいる私

ピボーンラプドム・スパスター

私はピボーンラプドム・スパスターと申しますニックネームはネネです。タイからまいりました。今は機械工学を勉強しています。日本に来る前、私の国では日本語をぜんぜん勉強しなかったもので、初めての日本での生活は大変になると思いました。広島大学に来て初めて日本語を勉強しました。

日本で生活を始めて、私はたくさんの新しいことに挑戦しました。国ではあまり料理ができませんでしたが、こちらに来てからはほとんど毎日料理をしています。また、自転車にはあまり乗っていませんでしたが、今は毎日自転車に乗っています。自転車で大学やショッピング・モール、好きなレストランなど色々なところに行くので、生活は本当に楽しいです。

私が日本語を勉強したクラスには留学生が10人いました。色々な国から来ていました。インド人とフィ

リピン人、メキシコ人、コロンビア人、ナイジェリア人、ガンビア人もいました。しかし、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の蔓延によって、クラスメートの何人かは日本に来られませんでした。ですから、オンラインで勉強したり、対面授業で勉強したりしました。早くみんなに会いたいです。

授業は毎日、朝9時30分に始まって、4時5分に終わりました。でも、火曜日と木曜日は2時20分に終わりました。昼休みは50分しかありませんから、大学食堂で昼ご飯を食べました。

文法や読解の勉強をするだけでなく、日本語を聞く練習をするためにビデオでリスニングをしました。そして、友達や先生には話せるようになるためにスピーキングを学びました。時々私たちは日本の歌を歌いもしました。それに、漢字もたくさん勉強しました。漢字は難しくても、きれいだし、私は書くのが楽しいと思いました。

また、私たちは広島市に行って見学したことがあります。広島城と縮景園、広島平和記念資料館へ行きました。

このクラスは楽しくて、面白くて、とても役に立ちました。先生方もとても優しくかったです。今私は日本語のことが少し分かります。コンビニの人に日本語で話せるので、とても幸せですし、誇りに思います。これから、日本文化をよく知るために日本語をもっと勉強するようになります。

このスピーチは、日本語研修コースのさいごの練習セッションです。みなさま、どうもありがとうございました。いつかまたお会いしましょう。お体にお気をつけください。

愛をもとめるさびしいわたし

バブ・リヨガル

みなさんこんにちは。私はバブ・リヨガルともうします。インドからまいりました。インドでは、私はタミルナドゥというところに住んでいます。去年の12月から広島大学に留学しています。わたしのうちは4人かぞくでした。お父さんとお母さん、兄と私です。私たちはずっとしあわせなせいかつをおくっていました。でも、三年前に兄がじこにあいました。かなしいことに、あにはバイクじこでしんでしまったのです。そのできごとのあと、時々寂しいと坎じます。インドではともだちがたくさんいました。でも、こちらでは日本じんとともだちになるのはむずかしいです。日本人とともだちになるためには日本語がひつようだと思ひます。日本語でなら、日本人とはなすことがかんたんにできます。さびしいので、はなしあいてがほしいのです。

私にはそばでじぶんのきもちをきょうゆうしてくれ

るひとがひつようです。私の手をしっかりとぎってくれ、しんやのさんぽをいっしょにしてくれるともだちがほしいのです。どこかにすわって、そのひとのかたによりかかり、ほしや月をみて楽しいじかんをすごすひつようがあります。一緒にどこかに旅行して、いろいろな国の料理を一緒にたべるあいてがほしいです。私はがいこくのえいが、とくにちゅうごくとかんこくのえいがをみるのがだいすきです。わたしと一緒にえいがをみってくれるパートナーがひつようです。よいときもわるいときもいっしょにいてくれるひとがほしいのです。

わたしは、みぢかな人を好きになりやすいタイプのにんげんです。しんゆうがわたしをゆうせんしてくれなくて、私がきずついたら、わたしはじぶんのきもちをコントロールすることができなくなってしまいます。そうになると、だれもわたしをあいしてくれていないようにかんじます。それはもっともよくないきもちです。ですから、わたしの気持をよくりかいし、スムーズにひびのせいかつをおくらせてくれるひとがそばにひつようです。わた

しは、であったひとすべてに兄が見せてくれていたあいをさがしています。わたしはじゅんすいなあいをわたしにもってくれるひとにであえるようねがっています。そして、わたしじしんも、じゅんすいなあいで人にせつすることができる人になりたいとおもいます。これで私のスピーチはいじょです。ありがとうございました。

わたしの日本での生活

ラムヤ・ムルガン

外国人留学生として、科学技術がひじょうにユニークで、世界的に評価されている日本で勉強する機会をいただき、とてもうれしいです。日本は、研究、製造システム、ものの生産においてひじょうに大きな発展を遂げています。ですから、日本式の技術を学ぶことができ、ほんとうによかったと思っています。

私は、インドから広島大学に来て、修士課程に入りました。すばらしい機会を与えてくれたグローバル人材育成プログラムと、日本の広島大学にとっても感謝しています。このプログラムのもっとも魅力的な点は、日本での生活を経験しながら、日本語の勉強もできることです。ですから、私はこのプログラムに入れたことをうれしく思います。

私は2021年の4月から8月までの6か月間、日本語コースで勉強しました。日本語と日本文化を学ぶことが

でき、とても楽しかったです。先生がたはとても親切で
教え方がすばらしかったです。

日本語を教えてくださった深見先生、中川先生、杉本
先生、山中先生、佐藤先生、ダマソ先生、松山先生、渡
辺先生に感謝しています。さらに、このプログラムのお
かげでホストファミリーと出会えて、とてもうれしいで
す。わたしのホストファミリーはやさしくて、毎回のホ
ームステイが楽しかったです。ホストパパとホストママ、
感謝の気持ちでいっぱいです。

東広島に来て、やく 9 か月になりますが、日本の生活、
文化、気候、食べ物にふれ、私にとってほんとうに貴重
な人生経験となりました。日本の文化、歴史、そして和
食がとても気に入っています。

私は日本での生活をとても楽しんでいきます。日本での
生活のおかげで、自立する方法を学ぶことができました。
これからも日本ですばらしい日々を送れることを願っ
ています。

さいごになりますが、このようなすばらしい機会をい

ただき、ほんとうにありがとうございました。

日本での生活

グルナタン・ビジャヤラクシュミ

みなさん、こんにちは。私はグルナタン・ビジャヤラクシュミです。インド人です。

去年の12月に日本へきました。日本はきれいな国で、すぐに、好きになりました。日本に留学する素晴らしいチャンスをもたらえて、私は広島大学の学生であることをほこりに思います。

わたしが日本へきた時、きせつは冬でした。大変でした。日本はとても寒く、はじめは寒さになれるのは少しむずかしかったです。それから日本食になれるのも大変でしたが、今では日本食が大好きです。ふしぎに思ったことは、たくさんの日本人が自転車に乗るのをたのしんでいること、そして自転車を大切にしていることです。なぜなら、インドでは自転車があまりべんりではないからです。

日本の留学生として、私は、日本では女の子が自分の

あんぜんを心配するひつようがないと自信をもって言えます。このことを女の子としてみなさんと共有できることを本当にうれしく思います。私はとても安心して生活していて、りょうしんも私のでんぜんを心配するひつようはありません。日本語ができないと、むずかしいときもありますが、実は日本人はとても親切で、よく手伝ってくれます。

ここでは、私は独立していて、すべてのことを自分の考えで行うことを学んでいます。

また、きょういくのために毎月奨学金があるグローバル人材プログラムに参加できて、とてもうれしく思います。3月には企業見学で、たくさんの製造業の会社をほうもんする機会があり、すばらしい経験をしました。

さらに、このプログラムには、6か月の日本語コースもありました。日本語コースで勉強したおかげで、私は日本語がじょうずに使えるようになりました。じゅぎょうはとても楽しくて、とくに先生方はとてもしんぼうよく、親切に日本語の勉強を手伝ってくださいました。

このことは 私の学生生活でのいい思い出の一つです。
また、ホストファミリーと出会えたことも、このプログラムの素敵なことでした。

最後になりますが、広島大学、私のプログラムマネージャー、先生方、そして 困難な時に私をたすけ、ささえてくれた人々に心から感謝しています。私は「広島大学の幸せな学生」です。